まえがき

旭出学園と井哲夫

まえがき

昨晩まで降り続きました雨が止んで、久振りで太陽が顔を出しました。プランコのジャングルジーの白い渦が、立てて干して居る。子供達も嬉しそうに飛びはねて居る。早速仕事をして居るのは、まだ子供達の姿が見える。私はまだ椅子で座っているのだと、心に思いながら毛並をなでながら草を切って居る。朝までに、現在のままでお茶屋さん、ハンカチを洗って居る。八ちゃん、せつせつと、居るとは不思議なモノが、実際は、居るとき、居るのか、新しいモノが、居るのか、といった方がほんとうのスタイルであろう。然し、ハッカチをもみくちゃにして居る、デッキブラシでさらす、なら、居る、という方が、ほんとうのスタイルであろう。然し、ハッカチをもみくちゃにして居る、デッキブラシでさらす、なら、居る、という方が、ほんとうのスタイルであろう。然し、ハッカチをもみくちゃにして居る、デッキブラシでさらす、なら、居る、という方が、ほんとうのスタイルであろう。然し、ハッカチをもみくちゃにして居る、デッキブラシでさらす、なら、居る、という方が、ほんとうのスタイルであろう。然し、ハッカチをもみくちゃにして居る、デッキブラシでさらす、なら、居る、という方が、ほんとうのスタイルであろう。然し、ハッカチをもみくちゃにして居る、デッキブラシでさらす、なら、居る、という方が、ほんとうのスタイルであろう。然し、ハッカチをもみくちゃにして居る、デッキブラシでさらす、なら、居る、という方が、ほんとうのスタイルであろう。然し、ハッカチをもみくちゃにして居る、デッキブラシでさらす、なら、居る、という方が、ほんとうのスタイルであろう。然し、ハッカチをもみくちゃにして居る、デッキブラシでさらす、なら、居る、という方が、ほんとうのスタイルであろう。然し、ハッカチをもみくちゃにして居る、デッキブラシでさらす、なら、居る、という方が、ほんとうのスタイルであろう。然し、ハッカチをもみくちゃにして居る、デッキブラシでさらす、なら、居る、という方が、ほんとうのスタイルであろう。然し、ハッカチをもみくちゃにして居る、デッキブラシでさらす、なら、居る、という方が、ほんとうのスタイルであろう。然し、ハッカチをもみくちゃにして居る、デッキブラシでさらす、なら、居る、という方が、ほんとうのスタイルであろう。然し、ハッカチをもみくちゃにして居る、デッキブラシでさらす、なら、居る、という方が、ほんとうのスタイルであろう。然し、ハッカチをもみくちゃにして居る、デッキブラシでさらす、なら、居る、という方が、ほんとうのスタイルであろう。然し、ハッカチをもみくちゃにして居る、デッキブラシでさらす、なら、居る、という方が、ほんとうのスタイルであろう。然し、ハッカチをもみくちゃにして居る、デッキブラシでさらす、なら、居る、という方が、ほんとうのスタイルであろう。然し、ハッカチをもみくちゃにして居る、デッキブラシでさらす、なら、居る、という方が、ほんとうのスタイルであろう。然し、ハッカチをもみくちゃにして居る、デッキブラシでさらす、なら、居る、という方が、ほんとうのスタイルであろう。然し、ハッカチをもみくちゃにして居る、デッキブラシでさらす、なら、居る、という方が、ほんとうのスタイルであろう。然し、ハッカチをもみくちゃにして居る、デッキブラシでさらす、なら、居る、という方が、ほんとうのスタイルであろう。然し、ハッカチをもみくちゃにして居る、デッキブラシでさらす、なら、居る、という方が、ほんとうのスタイルであろう。然し、ハッカチをもみくちゃにして居る、デッキブラシでさらす、なら、居る、という方が、ほんとうのスタイルであろう。然し、ハッカチをもみくちゃにして居る、デッキブラシでさらす、なら、居る、という方が、ほんとうのスタイルであろう。然し、ハッカチをもみくちゃにして居る、デッキブラシでさらす、なら、居る、という方が、ほんとうのスタイルであろう。然し、ハッカチをもみくちゃにして居る、デッキブラシでさらす、なら、居る、という方が、ほんとうのスタイルであろう。然し、ハッカチをもみくちゃにして居る、デッキブラシでさらす、なら、居る、という方が、ほんとうのスタイルであろう。然し、ハッカチをもみくちゃにして居る、デッキブラシでさらす、なら、居る、という方が、ほんとうのスタイルであろう。然し、ハッカチをもみくちゃにして居る、デッキブラシでさらす、なら、居る、という方が、ほんとうのスタイルであろう。然し、ハッカチをもみくちゃにして居る、デッキブラシでさらす、なら、居る、という方が、ほんとうのスタイルであろう。然し、ハッカチをもみくちゃにして居る、デッキブラシでさらす、なら、居る、という方が、ほんとうのスタイルであろう。然し、ハッカチをもみくちゃにして居る、デッキブラシでさらす、なら、居る、という方が、ほんとうのスタイルであろう。然し、ハッカチをもみくちゃにして居る、デッキブラシでさらす、なら、居る、という方が、ほんとうのスタイルであろう。然し、ハッカチをもみくちゃにして居る、デッキブラシでさらす、なら、居る、という方が、ほんとうのスタイルであろう。然し、ハッカチをもみくちゃにして居る、デッキブラシでさらす、なら、居る、という方が、ほんとうのスタイルであろう。然し、ハッカチをもみくちゃにして居る、デッキブラシでさらす、なら、居る、という方が、ほんとうのスタイルであろう。然し、ハッカチをもみくちゃにして居る、デッキブラシでさらす、なら、居る、という方が、ほんとうのスタイルであろう。然し、ハッカチをもみくちゃにして居る、デッキブラシでさらす、なら、居る、という方が、ほんとうのスタイルであろう。然し、ハッカチをもみくちゃにして居る、デッキブラシでさらす、なら、居る、という方が、ほんとうのスタイルであろう。然し、ハッカチをもみくちゃにして居る、デッキ布拉
手を出さぬ教育

三木槇長は御病気中で職員会議も教師二人の内輪話。

先づく、第一期月何手を出さぬこと、子供が騒いで
居るの一人々がどんな子か、又どんな彼等の社会がつくら
られるかを見極めなけらなければならない。自分で活動させなければ
ならない。これを名附けて静観法とした。つまり先生は一應
観客席にいろいろ諦んだが、また幕をあげてみると、舞踏
居る子、まちまちではあるが、いずれも、ピックリしたと違
ない。クレヨンをつけて絵をかししても、ゴシックと机を
でる子、全然むき出しにし、お母さんや、何から
ちやん、あのプランにいきない。と競争して、何とか
居る。私達教師よりも母親の方が心配して、お子さん、お子どもさん、ちやん、あのプランにいきない。と競争して、何とか
居る。私達教師よりも母親の方が心配して、お子さん、お子どもさん、ちやん、あのプランにいきない。と競争して、何とか
居る。私達教師よりも母親の方が心配して、お子さん、お子どもさん、ちやん、あのプランにいきない。と競争して、何とか
居る。私達教師よりも母親の方が心配して、お子さん、お子どもさん、ちやん、あのプランにいきない。と競争して、何とか
居る。私達教師よりも母親の方が心配して、お子さん、お子どもさん、ちやん、あのプランにいきない。と競争して、何とか
居る。
二人居合し、そうして、大抵てもあましの厄介坊主で例外視されるが、教師の熱情で特に行きとけた世話をする居合居合する。しかも、それも大した相違ではない、殊に先生方をあつめて友達のことを気の毒な事に進むわけではなく、その子供たちの変化が見えていただける。二人居合し、言う共通した点がある。いくら親切な先生でも、普通の子供を標準にして教育して居る以上、その中の精神薄弱児を参考に、その子供にとらわれ、どれ程、適切に生活にすることができるであろう。だから、その精神薄弱児のグループ（特殊学級）に居る方が、その程度の友人にひきかえられなければ、普通の子供を標準にして教育して居る以上、その中の精神薄弱児の順序の逆置えを免れないのが当然であろう。そこで、その精神薄弱児のグループの中のその薄弱精神に適切に生活させがあるが、文部省初等教育課の調査によると、昭和二十年四月の全国学校調査で、精神薄弱児のみの学級は僅か三十一である。如何にも少々なもにならざるを得ない。それでどうしても特別な学級の中でのその薄弱精神に適切に生活させたからである。大正末期には約二百三十三校あったものである。何故そうか、この困難を解消し、特別な学級に置けないか。さあ、これくらいのことを考えさせられるのである。

展開

「あさひで」の子供達の家庭は、今のところ多くインテリでない。しかし、「あさひで」の任務や責任を考えさせるのである。この教育に充分の理解をもってより、子供の扱い方を共と

するのである。しかしこの重要な学級の問題にあたっては、特別な教育技術は、子供一人一人によって異る。特に普通の教育に於いては、そうした教育技術に伝えられた根拠があるに比べて特別な教育では、それが全然無関係である。教えるのに役立たないことは教育の根拠であるが、何故あるか。初めから、子供が教えるのに役立たないことは勿論であるが、それにかかわらず、特別教育に伴い、あらゆる指針にあるある、子供一人一人によって異る。子供達のように家庭の行い居て居る場合、それがあい

る。特殊学級の減じるのも、あらゆる結果主義的考え方があい

つ理由になっているのであるか。